

現地見学会後にいただいたご意見等

目 次

現地見学会後にいただいたご意見等

- (1)現地見学会後にいただいたご意見……………P3
- (2)本日欠席の委員からのご意見……………P6

(1)現地見学会後にいただいたご意見

滋賀県庁舎全体についてのご意見

立地	駅が近く便利で、琵琶湖・比叡山等周辺環境や景観に恵まれた立地(2件)
動線 わかりにくさ 使われ方	- 増築を重ねた結果、複雑で迷いやすい。各館の接続が悪い。(6件) ✓新館の2階が入口の構造、動線・案内表示が分かりにくい。 ✓関連部署の部屋の配置(機能的・組織的)。もう少し関係が密になるよう改善すべき。 - 本館の前庭、中庭をはじめ、屋外と建物が分離、一体的に利用されていない。
雰囲気・印象	全体的に暗い、地味。トイレが古く、印象がよくない。(3件)
ユニバーサル デザイン・ バリアフリー	- エレベーター、トイレ、休憩室、案内表示、動線、段差、高齢者・障害者に配慮した空間の視点 - ユニバーサルデザインが最低限確保されている。(2件) - ユニバーサルデザイン、バリアフリー、ジェンダーフリーへの配慮が不十分(7件)
利用者利便	- 市民窓口の快適性向上やICT活用等が必要 - 開いた空間(ロビーや自由な休憩コーナー)が少なく、来訪者の居場所が限定的(2件)

建物性能(耐震・設備)についてのご意見

老朽化	老朽化が目立つ。耐震性、2次部材や設備等の補強・改修が必要ではないか。(4件)
省CO2	CO₂ネットゼロの実現に向け省エネ化や再エネ導入が進んでいる。(高効率空調機器や断熱化)
防災	- 危機管理センターの機能性が高く、安心感を得る機会となった。(2件) - 危機管理センター以外の使用可能性、実際のオペレーション、駐車場の確保等の検討が必要 - 災害時に利用が想定される階段について万全でない。
トイレ	改善が必要、特に女子トイレの安全性確保(個室上部の間仕切り等)・洋式化・生理用品の常備
地下室	地下室の環境:浸水・漏水が発生し、安全・衛生面において課題。改装・使用停止を要検討(2件)

(1)現地見学会後にいただいたご意見

執務空間についてのご意見

執務環境	- 執務環境の質が低く現在の利用に即して改善が必要(5件) ✓1人当たりのスペースが狭い(大量の書類・大きな決裁箱等による圧迫感、ロッカーの不足) ✓隙間に配置された打合せスペース ✓換気・照度の確保等が不十分 ✓来訪者が立ち入ることができ、セキュリティ面で課題あり
雰囲気	執務空間が閉鎖的な印象(2件)
生産性 向上	- 多様なワークスペース(懇談、集中、仕切られた打合せブース、リフレッシュ空間等)がない。(3件) - DX化が必要(人手不足への備え)(2件)
福利厚生	- 職員等が休憩できる空間に乏しい。(4件) ✓地下階、屋上、中庭等使える場所に改善すべき。(安全に使える環境整備が必要)(2件) ✓食堂が狭い。(昼休みの時間帯が一斉)、県民サロン、コンビニ等も改修が必要(2件)
設備面	執務室の床にコードが走るなど、OA化などに対応できておらず安全面にも課題(2件)

将来像についてのご意見

方向性	- 素敵な場所も多く、広く県民の皆さんが訪れる、身近な開かれた庁舎となるべき。(3件) - 若者に魅力を感じさせる改善が必要 - 県を背負って働く職員が滋賀県庁で働く意義をより感じることができるようになるべき。
目線	大きな展望を踏まえた土地全体のランドスケープ計画、2100年のあり方等の視点が必要

その他ご意見

授乳室	授乳室が活用しにくい場所にある。職員利用は想定しにくいため、危機管理センターに、災害時利用のデモンストレーションとしても活用できるように設置しては。
建替手法	既存の3棟は廃止し、執務空間を本館と上手く接合させて新築するのが望ましい。

(1)現地見学会後にいただいたご意見

本館の保存活用に関するご意見

外観	・ 重厚感や高級感がある。(3件) ・ 格調高さとモダンさが共存、建築家佐藤功一らしい優れたデザインで価値が高い。(3件)
構成の継承	・ 庁舎の理念を表現する構成(右:議場(立法)、左:知事室や旧正庁の間(行政)、塔屋:旧正庁)
魅力的な内観・建具	・ 初期の意匠が活かされている。(3件) ・ 玄関ホール(吹抜空間と階段の曲線美)・ステンドグラスが美しく落ち着いた雰囲気(4件) ・ 隣接する部屋との連続性や利便性を考えたオリジナルのスライディングドア
価値を感じにくい使われ方	・ 内部の歴史的文化的価値が考慮されていない使い方(3件) ✓4階旧正庁の間＝一般執務室、最上階旧正庁の間(明治時代の庁舎から移築)＝作業室 ✓執務室はパーティション等で部屋を区切って使用、オリジナルの床も手入れされずに使用
屋上・中庭・地下	・ 県庁屋上から望む琵琶湖と比叡山の景観も素晴らしく活用余地がある。(3件) ・ 来館者や職員が使えるような場所とし、開かれた場所にしてはどうか。(2件) ・ 中庭の雰囲気・廊下からの眺めが良い。(2件)
議場	・ 議場は歴史・文化的価値を感じる(機能面は現代ニーズに対応が必要)。活用余地あり。(4件)
一般開放収益化	・ 登録部分(玄関・議場等)は現存で記念館として県民、国民や旅行者に開放してほしい。(2件) ・ 文化財の特性を活かした施設運営で収益化等の事業価値創出の可能性はある。 ・ 窓からの景色は、琵琶湖一望ではないため観光面での商品価値があるかは微妙。
価値評価認知向上	・ 当初設計の部分と改築・改造部分が混在、歴史的建造物としての価値評価が難しい箇所も多い。 ・ 歴史や変遷が面白く、文化財としての周知・活用が必要(説明プレート、見学ツアー等)(2件)
継承・アーカイブ	・ 建設当初の部屋内の構造物等は撤去前に、画像等で保存できるとよい。 ・ 歴史的建物・構造物が一部保存され、時代背景・価値観が後世に継承されることには価値あり。
その他	・ 本館を活かしつつモダンなデザインを取り入れるには、有名デザイナーの力が必要

(2)本日欠席の委員からのご意見

● 京都工芸繊維大学デザイン・建築学系 准教授 笠原委員

- 本館は、ルネサンス様式の格調高さ・上品さに加えて、モダンさも共存した佐藤功一らしいデザインが随所に見られ、歴史的文化的価値が高く、素晴らしい建物である。
- 歴史的文化的価値を活かしながら、使いやすさ・機能の向上を図るのが良い。
- 2つの「正庁の間」(最上階の旧庁舎からの移築も含む)を復元・修復することで、オリジナルの価値を高め、見学や講演会での利用など集客にもつなげることができる。
- 中庭・屋上・地下を活用し、パブリックスペースの充実を図ることで、魅力的な空間を作ることができる。(例:中庭の室内化等)

● 滋賀県立大学人間文化学部 教授 京楽委員

- 今後、市町が庁舎整備をする際に、モデルとなるような庁舎にしてほしい。
- 本館に関する情報発信、駐車場や県庁舎周辺道路の課題、災害時の近隣住民の避難対応について検討してはどうか。
- トイレや授乳室、共用空間等は利用される方の意見を聞き、利用者のニーズに配慮してほしい。
- 子ども連れの方が安心して過ごせる空間を整備してはどうか。